

2025 年 7 月 25 日

郡山市
アストラゼネカ株式会社

アストラゼネカと郡山市

「健康づくりの推進等に関する連携協定」を締結

非感染性疾患（NCDs）の予防・早期発見・早期治療を推進

アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：堀井 貴史、以下、アストラゼネカ）と福島県郡山市（市長：椎根 健雄、以下、郡山市）は、この度「郡山市民の健康づくりの推進等に関する連携協定」を締結しました。本協定のもと、郡山市が掲げる「すべての市民が健やかで心豊かに生きいきと暮らせる持続可能なまち」の実現に向け、非感染性疾患（NCDs）の発症予防及び早期発見・早期治療の推進による健康寿命の延伸に取り組んでまいります。



（左から、郡山市 椎根 健雄市長、アストラゼネカ株式会社 代表取締役社長 堀井 貴史）

郡山市における死亡原因（令和 3 年）は、「悪性新生物（がん）」「心疾患」「脳血管疾患」などの NCDs が約 50%を占めており¹、要介護の要因の一つにもなっていることから、さらなる NCDs への包括的な対策が重要な課題となっています。さらに、NCDs の一つである COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、症状が悪化すると慢性心不全などの心血管イベントにも影響があることがわかっています²。厚生労働大臣が定める国民の健康増進の推進のための基本方針に基づく健康づくり運動「健康日本 21（第三次）」では、2032 年までに人口 10 万人あたりの COPD による死亡を 10.0 まで減少させるという新たな目標が掲げられており、郡山市においても COPD の死亡率の減少を目指すことを目標としています。

このような状況を受け、アストラゼネカと郡山市は協働してステークホルダーとの連携や、より多くの方々が健康づくりにアクセスしやすい環境を整備し、地域の健康課題の把握や疾病予防に関する啓発活動など、市民の皆様の健康増進に寄与することで健康寿命の延伸を目指してまいります。

今回の協定締結において、郡山市 椎根 健雄市長は次のように述べています。「郡山市では、『すべての市民が健やかで心豊かに生きいきと暮らせる持続可能なまち こおりやま』を目指し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に取り組んでおります。このような中、福島県においては、喫煙を主な要因とする COPD への対策が重要な課題となっております。アストラゼネカ社様におかれましては、COPD に関する先進的な取り組みを展開されており、当市の課題解決に大きな力となっただけのものだと確信しております。本協定締結を機に、御社の幅広い知見をもとに、市民の健康増進と健康寿命の延伸に取り組んでまいります」。

アストラゼネカの代表取締役社長である堀井貴史は次のように述べています。「アストラゼネカが重点としている疾患領域は、郡山市が医療課題として抱える疾患と重なります。これまで培ってきた製薬企業としての知見やノウハウを活かし、自治体や医師会などの多様なステークホルダーとの連携強化のハブとなり、市民の皆様の NCDs の早期発見・早期治療の促進に貢献していきたいと考えています。また、これらの取組により得られた成果や分析結果などのデータを蓄積し、それを活用したエビデンスに基づく政策立案の推進を図るとともに、創出されたエビデンスを全国に発信することで、保健事業の効果をより広く波及させていきたいと考えています」。

以上

非感染性疾患（Non-Communicable Diseases, NCDs）とは

NCDs とは、世界保健機関（WHO: World Health Organization）の定義では、不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒、大気汚染などにより引き起こされる、がん・糖尿病・循環器疾患・呼吸器疾患・メンタルヘルスをはじめとする慢性疾患をまとめて総称したもので、2021 年には全世界で 4300 万人以上の方が NCDs が原因で亡くなっています³。日本では、高齢社会の進展に伴い、NCDs の患者数・死亡者数が年々増加しており、総死亡者数のうち約 85%を占めると推定されています⁴。国民の健康増進の推進のための基本方針に基づく健康づくり運動「健康日本 21（第三次）」においても、NCDs の有病患者数増加が指摘され、『その対策は国民の健康寿命の延伸を図る上で引き続き重要な課題である』とされました⁵。これらの疾患の主な原因は不健康な生活習慣にあり、生活習慣の改善を促す対策が提唱されています。また、NCDs は家計や経済にも大きな影響を与え、これが持続的に増加すると予測されることから、グローバルな対策が求められています。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ医薬品企業であり、主にオンコロジー領域、希少疾患領域、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオファーマ領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社の革新的な医薬品は 125 カ国以上で販売されており、世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com/> または、ソーシャルメディア [@AstraZeneca](#) をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患およびワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。アストラゼネカの [Facebook](#)、[Instagram](#)、[YouTube](#) もフォローしてご覧ください。

References

1. 第三次みなぎる健康生きいきこおりやま 21 [第三次みなぎる健康生きいきこおりやま 21 - 郡山市公式ホームページ](#)
2. Kazuto M, et al. Increased Risk of Severe Cardiovascular Events Following Exacerbations of Chronic Obstructive Pulmonary Disease: Results of the EXACOS-CV Study in Japan. Volume 41, pages 3362–3377, (2024)
3. World Health Organization. The Global Health Observatory. Noncommunicable diseases: Mortality <https://www.who.int/data/gho/data/themes/topics/topic-details/GHO/ncd-mortality>
アクセス日：2025 年 5 月 15 日
4. World Bank Group. Cause of death, by non-communicable diseases (% of total). <https://data.worldbank.org/indicator/SH.DTH.NCOM.ZS> アクセス日：2025 年 5 月 15 日
5. 厚生労働省：健康日本 21（第三次） / 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針